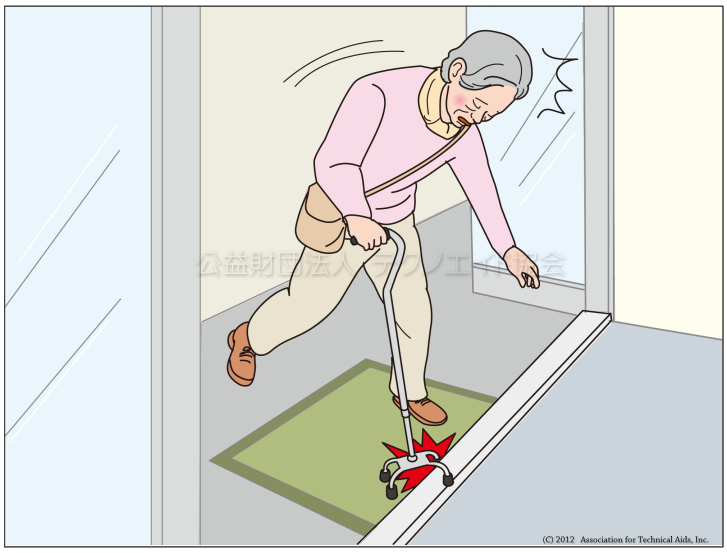
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：253

段差を越えようとしてバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

段差を越える際に四点杖の脚が１箇所しか段差を越えておらず、傾きが生じて転倒しそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	玄関 段差・縁石
介護保険の種目	歩行補助杖
分類コード (CCTA95)	120318 (四脚杖)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

多点杖はベースが大きい分、段差ではより遠くまで杖を送る必要があります。特に下りる方向では遠くに杖を送る分、身体の前傾も大きくなりますので注意が必要です。また段差にスロープを設置することもありますが、杖の送りはさらに遠くになることから、かえって危険度を増す結果になることもあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：段差を越える練習をしていなかった
人：杖を遠くへ突くことができなかった
環境：段差があった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.